

「質問」

日本一のヒバ林が下北の佐井村にあるが隠されているということですが、佐井村のどこにあるのですか？

「回答」

日本一のヒバ林が「隠されている」とされる場所は、青森県下北半島佐井村の牛滝（うしたき）集落の近くにあります。

具体的な場所

- 牛滝集落の河口を持つ牛滝川を港から約 2 キロ遡ると、枝分かれして南に向かう「石山沢」という支流があります。
- この石山沢の西岸、東向きの斜面が問題のヒバ林の本体です。
- 牛滝川に沿って国道 338 号線を内陸に入り、約 2 キロほど進んだところに「上牛滝橋」という橋がかかっています。そこから南下する石山沢の西岸の山一帯（ゴルフ場にも匹敵する約 56 万坪とされる広大なエリア）が該当します。

なぜ「隠されている」と言われているのか

- このヒバ林は、かつてから民事・刑事裁判が相次ぐなど、所有関係をめぐるトラブルが絶えない「公然の秘密」とされてきました。
- 林野庁（国）と坂井家など地元民間所有者との間で複雑な権利関係が続いており、観光や一般公開が積極的に進められなかったため、広く知られることがなかったとされています。

まとめ

佐井村の牛滝集落から牛滝川・石山沢の西岸にかけて、56 万坪ともいわれる広大な「隠された日本一のヒバ林」が存在しています。地理的には国道 338 号線の上牛滝橋から南方、石山沢西岸の山林地帯となります。

関連

牛滝のヒバ林の正確な場所を教えてください

牛滝集落と石山沢の位置関係を詳しく知りたい

佐井村の公開されているヒバ林案内や地図を見せてください

牛滝のヒバ林が国有林か私人所有かの公的記録を探す

ヒバ林へのアクセス規制や立ち入り可否の情報を確認する

--